

《 競 技 注 意 事 項 》

1 本大会は、2024年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。また、本競技会競技種目のうち、投てき競技、混成競技、男女リレー種目、女子2000mSCを除く全種目をWRk対象とする。

2 練習及びウォーミングアップについて

ウォーミングアップは、下記のとおり係員（競技役員）の指示によって行うこと。

- (1) ウォーミングアップは、『練習会場の「使用日程」および「レーン区分」について』のとおりとする。
- (2) 特に投てき練習は、監督の付き添いのもと事故防止に万全を期すこと。

3 招集について

- (1) 招集所は、第1ゲート出入口（外側・ゴール側）付近に設ける。
- (2) 招集の方法

- ①競技者は、招集開始時刻まで招集所に集合し、アスリートビブスの最終確認を受けること。
その際、競技用シューズ・衣類・持ち物など点検も受けること。（スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし走高跳・やり投は12mm以内）ビデオ装置、スマートフォンもしくは類似の機器、その他外部と連絡可能な通信機器類を競技区域内で所持・使用はできない。
- ②代理人による最終点呼は認めない。同時間帯に多種目を兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人又は代理人が、多種目同時出場届（招集所に準備）に必要事項を記入し、最初の種目の招集開始時刻までに招集所に提出する。その際、トラック競技の出場者は腰ナンバー（シール）を受け取ること。
- ③二種目同時の競技で、次の競技場所に移動する場合は、審判員に申し出て指示を受けること。
- ④リレー競技に出場するチームは、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに所定のオーダー用紙（招集所に準備）に必要事項を記入し、招集所に提出する。（予選では1チーム4枚・提出時各チームに3枚返却）以後、メンバー及びオーダー変更の有無にかかわらず、返却されたオーダー用紙で手続きをする。
- ⑤出場種目を欠場する場合は、欠場届を所定の用紙（招集所に準備）に記入し招集完了時刻までに招集所に提出する。リレー種目の欠場届は、招集完了時刻の1時間前までに提出する。
- ⑥招集完了時刻に遅れた競技者及びリレー・オーダーを提出されない場合、当該種目を欠場するものとみなし処理する。
- ⑦招集開始時刻（点呼開始時刻）及び招集完了時刻（移動開始時刻）は競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

種 別	招集時刻	予 選		準決勝・決勝	
		招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
トラック競技	1～3組	30分前	15分前	30分前	15分前
	4～6組	15分前	競技開始時刻		
4×100m R 4×400m R 予 選	1～2組	30分前	15分前	30分前	15分前
	3～4組	15分前	競技開始時刻		
	5～6組	競技開始時刻	競技開始時刻 15分後		
女子棒高跳・三段跳・ハンマー投		*	*	60分前	45分前
（上記女子種目以外） フ ィ ー ル ド 競 技		*	*	75分前	60分前
混 成 競 技		トラック競技		30分前	15分前
		フィールド競技		45分前	30分前

※リレー競技の準決勝以降は、他のトラック競技と同様に3組毎に行う。

- ⑧混成競技において、第1日、第2日ともに第1種目は招集所で招集を受けるが、それ以降については、混成競技控室（メインスタンド下室内走路北側）で点呼確認を受ける。

- (3) 競技場で着用する衣類やバッグの1品ごとに製造会社のロゴが入っている場合は、その大きさは、面積40cm²・高さ5cm以内とし、それぞれ1か所とする。これを越えるものについては、競技場内には持ち込めない。競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。特にTシャツやバッグにプリントされているロゴ等については注意すること。

詳細は「競技会における広告および展示物に関する規程」のQRコードを読み込み確認すると。
規定外のロゴ等について、自らマスクングをしたものについては持ち込みを許可する。

4 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、大型スクリーン及びアナウンスで行う。正式発表の時刻は、大型スクリーン表示終了時刻とする。
- (2) 抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に総務員抗議担当に口頭で申し出ること。審判長が検証し、担当役員をとおして裁定を伝える。この裁定を不服として、さらに上訴する場合は、「上訴申立書」に必要事項を記入し、預託金1万円を添えて、TICに申し出ること。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当役員をとおして伝える。
- (3) 記録（リザルト）はQRコードを読み取って、競技会の速報webサイトで確認すること。

5 アスリートビブスについて

- (1) 配付されたアスリートビブスは、各自のものを胸部と背部に付けること。ただし、跳躍種目の競技者は胸部又は背部の片方だけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、招集所で配付される腰ナンバーカードを下半身の横や後方に付けること。セパレートレーンで行う競技（100m～400mの競技）は、下半身右1枚のみつけること。オープンレーンで行う競技（800m以上の競技）は下半身左右2枚付けること。ただし、リレー競技については4×100mRは第4走者が1枚のみ、4×400mRは2・3・4走者が腰ナンバーカードを下半身左右2枚付けること。
- (3) 2000m以上の長距離競技及び競歩競技については、周回確認用の特別アスリートビブスを胸部につける。特別アスリートビブスは競技開始1時間前まで招集所に受け取りに来ること。その際、正規のアスリートビブスを提示すること。特別アスリートビブスは競技終了後、回収はしない。
- (4) 混成競技の最終種目では、総合順位（その時点）の上位競技者から順番に特別アスリートビブス（胸部のみ）を使用する。ビブスは混成競技係より配付する。競技終了後、回収はしない。

6 競技場への入退場について

- (1) トラック競技
- ①競技場への入場は、招集所から係員の誘導により行う。
- ②トラック競技者の退場は、フィニッシュライン到着後、第1ゲート（ゴール側）。
ただし、4×100mリレーの第2・第3走者は、第4ゲート（第4コーナー）から、第1・第4走者は第1ゲート（第1コーナー）からそれぞれ退場すること。
- (2) フィールド競技
- ①競技場への入場は、招集所から係員の誘導により行う。
- ②退場は競技終了後、跳躍及び投てき競技役員の指示により最寄りのゲートから退場する。

7 番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技者の走路順、跳躍、投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- (2) 準決勝以降のレーンは、主催者がルールに則り組み合わせ決定する。組み合わせ及びレーン順はプログラム記載のQRコードを読み取り、競技会速報webサイトで確認すること。
- (3) 時間での次のラウンドの進出者に同成績がいる場合、1/1000秒の実時間を考慮して競技者を決定する。それでも同じであれば同成績とする。空きレーンがあるか、走る場所がある場合は、同成績者は次のラウンドに進める。それでもレーンが不足する場合は同成績者または代理人によって抽選する。

8 競技について

(1) トラック競技

- ①レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ②短距離走では、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにすること。
- ③4×100mRの第2・3・4走者は、走路に自分で準備したマークを一ヶ所使用することができる。ただし、各チームはそのマークを、責任を持って撤去すること。
- ④オープン種目（女子2000mSC）だけにエントリーしている競技者は、リレー種目に出場することはできない。

(2) フィールド競技

- ①走高跳を除く跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者の用意したマークを2個まで置くことができる。また、走高跳の競技者は各自が用意したマークを助走路内に2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技ではマークを1個だけ使用することができる。
- ②競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従うこと。指示以外の練習は認めない。
- ③三段跳の踏み切り板は男子12m地点、女子9m地点に設置する。
- ④棒高跳に出場する競技者は「アップライト申告書」を招集所で受け取り、必要事項を記入し、招集時に持参し提出すること。
- ⑤棒高跳の公式練習は、ゴムバーで行う。
- ⑥助言について

フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチングエリア」を設ける。ただし各校1名の入場とする。

助言は、競技運営並びに他の競技者の競技者の妨げにならない範囲で「コーチングエリア」に限り認める。ただし、映像等を見せる（見る）ことはできるが、競技者本人に機器を手渡して操作することは禁止とする。

9 競技用靴について

WRk対象種目は、WA規則に従うこと。

10 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

(1) 走高跳・棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳 (男子)	1m82	1m85	1m88	1m91	1m94	1m97	2m00	2m03	+3cm
	1m91								
走高跳 (女子)	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	1m66	1m69	+3cm
	1m57								
棒高跳 (男子)	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	+10cm
	4m10								
棒高跳 (女子)	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	+10cm
	2m90								

※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

- (2) 第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- (3) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	以降
男子 八種競技	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	1m62	1m65	+3cm
	1m70							
女子 七種競技	1m20	1m25	1m28	1m31	1m34	1m37	1m40	+3cm
	1m45							

11 競技用器具について

競技に使用する器具は、棒高跳用ポール以外は主催者の準備したものを使用すること。練習用の個人の用具は競技場内に持ち込んで서는ならない。

12 表彰について

- (1) 各種目第8位までの入賞者を表彰する。入賞者は役員の指示に従いメインスタンド下室内走路に設ける入賞者控えに移動し待機すること。表彰への競技用ユニフォームでの参加は禁止とする。
- (2) 各種目の得点は第1位8点、第2位7点、第3位6点、以下5・4・3・2・1点とする。
- (3) 合計得点が同点となった場合の総合順位決定は、上位入賞競技種目の多い学校を上位とする。
- (4) 学校対抗における総合の部の表彰は、男女ともに第8位までとし、トラック競技・フィールド競技の総合の部の表彰は、男女とも第3位までとする。

13 一般注意事項

- (1) 健康上で問題が生じる等、応急手当が必要な場合は、医務員に連絡すること。競技会場での疾病傷病等の応急手当は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 提出書類は下記のとおりとする。(配布場所は提出先と同じ)

No.	書類の種類	提出先	提出時刻
1	欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2	多種目同時出場届	招集所	1種目目の招集完了時刻まで
3	リレー・オーダー用紙	招集所	第1組目の招集完了時刻の1時間前まで
4	アップライト申告書	招集所	招集時
5	上訴申立書	T I C	4 結果発表と抗議について 参照
6	記録証明書	T I C	随時

- (3) 「記録証明書」の発行を希望する場合は、T I Cに500円を添えて申し込むこと。
- (4) 大会期間中の貴重品の管理は各自行う。盗難にあっても責任は負いかねる。
- (5) 観戦・応援について
 - ① 競技及び運営の妨げとなる応援は禁止する。
 - ② 集団応援はメインスタンドでは禁止とする。サイド・バックスタンドで行うこと。
事故防止の観点から、スタンドフェンスに寄りかかっている応援は禁止とする。
 - ③ メインスタンド最前列及び通路で立っての観戦、応援、助言は行わないこと。
 - ④ コーチングエリア内での応援は禁止する。
- (6) 届けられた遺失物については、T I Cで保管する。
- (7) **個人情報の取扱及び盗撮防止について**
 - ① 個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱います。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。
 - ② 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ、ラジオ・インターネット等の媒体に掲載することがあります。
 - ③ 大会時の写真・動画については、ソーシャルメディア（SNS、電子掲示板、ブログ、投稿サイト、情報共有サイト等）で掲載及び配信をしないこと。ただし、団体及び個人が、事前に許可を得ている場合はこの限りではない。
 - ④ 撮影にあたっては、主催者の指示に従うこと。（撮影禁止エリアを設ける。）
 - ⑤ 盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向け、撮影者に対し本大会役員より撮影理由及び撮影画像を確認される場合があります。
 - ⑥ 望遠レンズを使用しての撮影の際には、T I Cに申請し、許可を受けること。

競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕



競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕 補足事項

